

2024年8月22日
高知県合唱連盟

第77回全日本合唱コンクール四国支部大会（第64回四国合唱コンクール）
地震発生時の危機管理に関する申し合わせ

1 地震発生時

(1) 緊急地震速報が発令された場合

舞台進行担当が館内放送等を用いて、出演者に対して演奏の中断を命じ、舞台上にいる者を客席に、舞台袖にいる者を反響板から離れた所に避難させ、安全姿勢をとらせる。また、観客にも安全姿勢をとらせる。他の実行委員・スタッフは直ちに周辺の扉を全て開放し、出演者・スタッフ・実行委員に安全姿勢をとらせる。

(2) 主催者が地震と思われる揺れを感じた場合

舞台進行担当が対応を判断し、対応を指示する。非常事態と判断した場合は、館内放送等を用いて、出演者に対して演奏の中断を命じ、舞台上にいる者を客席に、舞台袖にいる者を反響板から離れた所に避難させ、安全姿勢をとらせる。また、観客にも安全姿勢をとらせる。他の実行委員・スタッフは直ちに周辺の扉を全て開放し、出演者・スタッフ・実行委員に安全姿勢をとらせる。

2 地震収束後

(1) 実行委員が館内放送等を用いて避難、安全確保、大会続行等の案内をする。

(2) 避難が必要になった場合、かるぽーと職員の指示のもと、避難させる。

（かるぽーと自体が高知市の指定緊急避難場所かつ指定避難所となっています）

(3) 大会の続行、延期、中止等の対応については、かるぽーと職員と協議のうえ、主催者が判断する。

(4) 当日大会を続行する場合、地震発生時に演奏していた団体については演奏を最初からやり直すものとします。

（リハーサルからやり直すかどうかは、中断時間の長短により主催者が判断する）

(5) 当日大会を続行できない場合の、大会の延期や中止等の対応については後日主催者が案内する。

（演奏団体が会場へたどり着けるかどうかも考慮の上、続行可否の判断を行います）

8月22日高知県合唱連盟四国支部大会実行委員会にて協議